

令和6年3月

館林地区消防組合議会

第1回定例会会議録

館林地区消防組合

令和6年館林地区消防組合議会第1回定例会会議録

於 館林地区消防組合 3階 防災教室

議事日程

令和6年3月27日（水）午後1時00分開議

- 第1 会期の決定
- 第2 会議録署名議員の指名
- 第3 議案第5号 専決処分の承認を求めることについて
(令和5年度館林地区消防組合一般会計補正予算)
- 第4 議案第6号 専決処分の承認を求めることについて
(群馬県市町村公平委員会共同設置規約の変更に関する協議書)
- 第5 議案第7号 館林地区消防組合消防手数料の一部を改正する条例
- 第6 議案第8号 令和5年度館林地区消防組合一般会計補正予算(第4号)
- 第7 議案第9号 令和6年度館林地区消防組合関係市町負担金の分賦の割合について
- 第8 議案第10号 令和6年度館林地区消防組合一般会計予算

本日の会議に付した事件

議事日程のとおり

出席議員(11名)

1番 飯島一志君	2番 野本泰生君
3番 斉藤貢一君	4番 小野田富康君
5番 藪之本佳奈子君	6番 三浦次弘君
7番 奥澤貞雄君	8番 原口剛君
9番 金子浩二君	10番 松村潤君
11番 神山均君	

説明のために出席した者

管理者	多田善洋君
副管理者	富塚基輔君
〃	高橋純一君
〃	橋本光規君
〃	野口一幸君
会計管理者	松澤直範
消防長	小貫裕康
本部次長	横村恭彦
総務課長	小倉孝志
予防課長	田島行洋
警防課長	三田直紀
通信指令課長	増田崇
板倉消防署長	白澤祥光
明和消防署長	齊藤正登
千代田消防署長	服部将幸
邑楽消防署長	町田節雄
館林消防署課長	村上博
館林消防署課長	石井弥吉
警防課長補佐	飯島康明
総務課長補佐	堀口尚志

開会及び開議

(令和6年3月27日(水)午後1時00分開会)

- 議長(齊藤貢一君) ただいままでの出席議員は11名であります。よって定足数に達しておりますので、告示第12号をもって招集されました令和6年館林地区消防組合議会第1回定例会は成立いたしました。ただちに会議を開きます。

第1 会期の決定

- 議長（斉藤貢一君） 次に、日程第1．会期の決定を議題といたします。本定例会の会期を、本日1日と決定したいと思いますが、ご異議ございませんか。
（「異議なし」と呼ぶ者あり）
- 議長（斉藤貢一君） ご異議がないようですから、さよう決定いたしました。

第2 会議録署名議員の指名

- 議長（斉藤貢一君） 次に、日程第2．会議録署名議員の指名をいたします。会議録署名議員に11番神山均君、1番飯島一志君を指名いたします。

第3 議案第5号 専決処分の承認を求めることについて (令和5年度館林地区消防組合一般会計補正予算について)

- 議長（斉藤貢一君） 次に、日程第3．議案第5号「専決処分の承認を求めることについて」（令和5年度館林地区消防組合一般会計補正予算について）提案理由の説明を願います。管理者多田善洋君。
- 管理者（多田善洋君） 議案第5号 専決処分の承認を求めることについて申し上げます。本案は、令和5年度館林地区消防組合一般会計補正予算（第3号）を専決処分したものでございます。内容について申し上げますと、館林消防署配備の水槽車の故障により出動に支障をきたしていることから、早急な修繕が必要となり需要費の増額及び本年1月1日に発生した能登半島地震におきまして、群馬県緊急消防援助隊として1月1日から11日まで消防活動を実施したことに伴う緊急消防援助隊活動費として職員手当等及び旅費の追加をお願いするものでございます。なお、これらの財源につきましては、緊急消防援助隊活動費負担金及び繰越金を充当するも

のでございます。よろしくご審議のうえ、ご承認くださるようお願い申しあげまして、提案理由の説明といたします。

- 議長（斉藤貢一君） 説明が終わりました。質疑を行います。
（「質疑なし」と呼ぶ者あり）
- 議長（斉藤貢一君） 質疑を打ち切ります。討論を行います。
（「討論なし」と呼ぶ者あり）
- 議長（斉藤貢一君） 討論を打ち切ります。採決します。議案第5号を原案どおり承認することに賛成の方は、挙手を願います。
（挙手全員）
- 議長（斉藤貢一君） 挙手全員よって、議案第5号は、原案どおり承認いたしました。

第4 議案第6号 専決処分の承認を求めることについて（群馬県市町村総合事務組合の規約変更に関する協議書）

- 議長（斉藤貢一君） 日程第4．議案第6号「専決処分の承認を求めることについて」（群馬県市町村総合事務組合の規約変更に関する協議書）を議題といたします。提案理由の説明を願います。管理者多田善洋君。
- 管理者（多田善洋君） 議案第6号 専決処分の承認を求めることについて申しあげます。本案は、群馬県市町村公平委員会規約の変更に関する協議書を専決処分したものでございます。内容について申しあげますと、本年4月1日から富岡市及び榛東村が群馬県市町村公平委員会に加入し、また、負担金の算出方法の改正を行うため規約の一部改正をするものでございます。よろしくご審議のうえ、原案のとおり承認くださいますようお願い申しあげまして、提案理由の説明といたします。
- 議長（斉藤貢一君） 説明が終わりました。質疑を行います。
（「質疑なし」と呼ぶ者あり）
- 議長（斉藤貢一君） 質疑を打ち切ります。討論を行います。
（「討論なし」と呼ぶ者あり）
- 議長（斉藤貢一君） 討論を打ち切ります。採決します。議案第6号を原案どおり承認する方は、挙手を願います。

(挙手全員)

- 議長(斉藤貢一君) 挙手全員よって、議案第6号は、原案どおり承認いたしました。

第5 議案第7号 館林地区消防組合消防手数料条例の一部を改正する条例

- 議長(斉藤貢一君) 次に、日程第5. 議案第7号「館林地区消防組合消防手数料条例の一部を改正する条例」を議題といたします。提案理由の説明をお願いします。管理者多田善洋君。
- 管理者(多田善洋君) 議案第7号 館林地区消防組合消防手数料条例の一部を改正する条例について申し上げます。本案は、地方公共団体の手数料の標準に関する政令の一部改正に伴い、関係条例を改正するものでございます。内容について申し上げますと、屋外タンク貯蔵所の設置の許可に係る手数料の標準額が改正されたことにより、手数料条例の一部を改正するものでございます。よろしくご審議のうえ、原案のとおり議決くださるようお願い申しあげまして、提案理由の説明といたします。
- 議長(斉藤貢一君) 説明が終わりました。質疑を行います。
(「質疑なし」と呼ぶ者あり)
- 議長(斉藤貢一君) 質疑を打ち切ります。討論を行います。
(「討論なし」と呼ぶ者あり)
- 議長(斉藤貢一君) 討論を打ち切ります。採決します。議案第7号を原案どおり可決する方は、挙手を願います。
(挙手全員)
- 議長(斉藤貢一君) 挙手全員よって、議案第7号は、原案どおり可決いたしました。

第6 議案第8号 令和5年度館林地区消防組合一般会計補正予算(第4号)について

- 議長(斉藤貢一君) 次に、日程第6. 議案第8号「令和5年度館林地区消防組合一般会計補正予算(第4号)について」を議題といたします。

提案理由の説明をお願いします。管理者多田善洋君。

- 管理者（多田善洋君） 議案第8号 令和5年度館林地区消防組合一般会計補正予算（第4号）について申しあげます。本案は、歳入歳出予算におきまして、45万4千円の追加補正でございます。主な内容について申しあげますと、まず、歳出でございますが、例規集追録業務委託の追加となります。この財源につきましては、前年度の繰越金を充当するものでございます。歳入につきましては、基金積立金利子の減額でございます。これにより、令和5年度の歳入歳出の総額をそれぞれ24億6,632万円とするものでございます。よろしくご審議のうえ、原案のとおり議決くださいますようお願い申しあげまして、提案理由の説明といたします。
- 議長（斉藤貢一君） 説明が終わりました。質疑を行います。
（「質疑なし」と呼ぶ者あり）
- 議長（斉藤貢一君） 質疑を打ち切ります。討論を行います。
（「討論なし」と呼ぶ者あり）
- 議長（斉藤貢一君） 討論を打ち切ります。採決いたします。議案第8号を原案どおり可決することに賛成の方は挙手を願います。
（挙手全員）
- 議長（斉藤貢一君） 挙手全員よって、議案第8号は原案どおり可決いたしました。

第7 議案第9号 館林地区消防組合関係市町負担金分 賦の割合について

- 議長（斉藤貢一君） 次に、日程第7. 議案第9号「館林地区消防組合関係市町負担金分賦の割合について」を議題といたします。提案理由の説明をお願いします。管理者多田善洋君。
- 管理者（多田善洋君） 議案第9号「令和6年度館林地区消防組合関係市町負担金の分賦の割合」について申し上げます。本案は、本組合の経費負担金の分賦の割合について、組合規約第11条第2項の規定により、議会の議決を求めるものでございます。内容について申し上げますと、常備消防費の負担割合につきましては、市町の基準財政需要額と人口割により算出し、非常備消防費の負担金につきましては、市町ごとに非常備消防運営に係る必要経費を算出し、そこから起債等の特定財源を除いた額を負担す

るものでございます。よろしくご審議の上、原案のとおり議決くださいますようお願い申し上げまして、提案理由の説明といたします。

- 議長（斉藤貢一君） 説明が終わりました。質疑を行います。
（「質疑なし」と呼ぶ者あり）
- 議長（斉藤貢一君） 質疑を打ち切ります。討論を行います。
（「討論なし」と呼ぶ者あり）
- 議長（斉藤貢一君） 討論を打ち切ります。採決いたします。議案第9号を原案どおり可決することに賛成の方は挙手を願います。
（挙手全員）
- 議長（斉藤貢一君） 挙手全員よって、議案第9号は原案どおり可決いたしました。

第8 議案第10号 令和6年度館林地区消防組合一般会

計予算

- 議長（斉藤貢一君） 次に、日程第8、議案第10号「令和6年度館林地区消防組合一般会計予算」を議題といたします。提案理由の説明を願います。管理者多田善洋君。
- 管理者（多田善洋君） 議案第10号「令和6年度館林地区消防組合一般会計予算」について申し上げます。昨年は、救急出動件数が過去最高となり、また、物価高騰により、厳しい1年となりました。また地震をはじめ、台風や記録的な大雨による、人的被害や建物被害が発生しており、各種自然災害への備えは、地域住民から強く求められております。消防機関として、あらゆる災害に対する備えを続けていかなければと考えます。新型コロナウイルス感染症も5類相当になり、行事やイベント等も開催できるようになりました。今後も、住民の求めに応じられるよう安全で安心な暮らしを守るため、効率的な事務事業により節減を図りながらも、最も効果的な消防防災業務の執行を目指して、編成した予算でございます。その結果、予算総額は24億8,126万9千円で、前年度に比べ0.6%の増でございます。内容について申しあげますと、歳入につきましては、市町負担金を始め、危険物施設に関する手数料、県委託金、県補助金、基金繰入金及び繰越金を見込み、諸収入においては高速自動車道救急業務支弁金を、組合債では消防施設整備事業債、防災対策事業債を計上したものでござい

ます。次に、歳出でございますが、主な施策について申し上げます。常備消防費では、テロ対策資機材といたしまして、生物剤チケットを購入させていただき、通信指令課の通信指令システム更新工事、ライブ119、西分署大規模改修工事をさせていただきます。非常備消防費につきましては、各消防施設費において、消火栓の設置及び補修工事を実施し、消防水利の整備を図ります。また、館林消防団において、第9分団第2班詰所新築工事及び第9分団第2班詰所の解体工事、第6分団第1班の消防ポンプ自動車を更新するとともに、板倉消防団では、第2分団の水槽付消防ポンプ自動車の更新、詰所の改修工事、邑楽消防団では、第3分団第4班・第5班詰所の新築工事設計業務委託を行い、消防団活動の充実強化を図るものでございます。近年、少子高齢化、人口減少社会が進行し、厳しい財政状況であることから、重要度、緊急度の高い事業に、限られた財源を重点的に配分し、効率的かつ効果的な消防行政運営を進め、災害に強い地域づくりに努めてまいり所存でございます。以上、令和6年度予算の大綱について、ご説明申し上げました。よろしくご審議のうえ、原案のとおり議決くださいますようお願い申し上げまして、提案理由の説明といたします。

- 議長（斉藤貢一君） 説明が終わりました。質疑を行います。2番野本泰生君。
- 議員（野本泰生君） 館林の野本です。一般会計予算に関する質問としまして、予算説明書にある27ページですが館林消防団人件費ということで、板倉、明和、千代田、邑楽と同じような消防団人件費がありますが、令和5年度と比較しますと、約2割から26、7%の減額となっております。この減額とした理由をご説明いただければと思います。
- 議長（斉藤貢一君） 警防課長三田直紀君。
- 警防課長（三田直紀君） 質問に対しまして、答えさせていただきます。報酬の中に、年額報酬、出場報酬と種類がありますが、7時間45分に達する長時間の災害活動の場合は日額として8千円の支給を令和5年度から開始させていただきました。初年度は複数回分予算化しておりましたが、令和6年度は団員一人1回、1日という形で予算化したため、大幅に減額となっております。以上でございます。
- 議長（斉藤貢一君） 2番野本泰生君。
- 議員（野本泰生君） ありがとうございます。一人1回、1日ということで、想定されているということでございますけれども、令和6年度でももしも大きな災害が起きた場合には、この予算額で間に合わなくなってし

まうということで、今後、なった場合には補正なり緊急の場合は専決処分
で対応するという風に理解しているのですが、それでよろしいでしょうか。

- 議 長（斉藤貢一君） 警防課長三田直紀君。
- 警防課長（三田直紀君） 長時間活動になるような災害が数回起こった場
合は補正で対応させていただきます。よろしくお願いします。以上となり
ます。
- 議 長（斉藤貢一君） 2番野本泰生君。
- 議 員（野本泰生君） 当然、補正なりを組んで皆さんに適正な支給をし
ていただかないといけないかなと思っております。それで、団員の報酬に
ついては、全国的にも各地でこれまでトラブルが有ったりとか、いろんな
問題を抱えていると聞いておりますが、館林管内においては、この問題に
ついては現在のところ有るのか無いのかお伺いしたいと思います。
- 議 長（斉藤貢一君） 警防課長三田直紀君。
- 警防課長（三田直紀君） 館林地区消防組合管内の各消防団におきまし
ては、そういった不祥事、トラブルは起きておりません。また、全国的にそ
ういったものが、ニュース等、新聞に掲載された場合は、各署長、消防団
長が注意喚起をしております。以上となります。
- 議 長（斉藤貢一君） 4番小野田富康君。
- 議 員（小野田富康） 板倉の小野田です。よろしくお願いします。消防
団員の準中型免許取得費の補助ということで、板倉、明和、邑楽、館林は
あるんですが、千代田は計上されていないということで、新しく免許を取
る方については、準中型免許を取らないとポンプ車を運転ができない。こ
れからいろいろ問題になってくると思っているのですが、令和5年度にど
れくらい使われたのか、今後、増額していかなければいけない部分かなと
思っているのですけれども、どのように考えていらっしゃるのか。
- 議 長（斉藤貢一君） 邑楽消防署長町田節雄君
- 邑楽消防署長（町田節雄君） それでは、ご質問にお答えさせていただきます。
準中型免許の消防団に対する補助ですが、令和5年度は明和消防団
が5t解除5名と邑楽消防団が5t解除1名、計6名で、今まで平成30年
から総額で276万9,542円補助しております。以上です。
- 議 長（斉藤貢一君） 4番小野田富康君。
- 議 員（小野田富康） ありがとうございます。例えば明和で89万4千
とか板倉に54万とか有るんですけども、これは何件分という計算にな
るのでしょうか。

- 議 長（斉藤貢一君） 明和消防署長齊藤正登君。
- 明和消防署長（齊藤正登君） 質問にお答えさせていただきます。明和消防団につきましても、毎年6名の予算を取っております。令和5年度におきましても5名を補助させていただきました。平成30年度から現在まで30名補助させていただいております。以上です。
- 議 長（斉藤貢一君） 4番小野田富康君。
- 議 員（小野田富康） ありがとうございます。先ほどの野本議員の発言とも被るところですけれども、団員の報酬というところで、3月14日辺りの上毛新聞の一面に出ていたのですけれども、今は各個人個人に報酬を振込むという形でやると思うのですけれども、幽霊団員ということで、全く団活動に参加していない方にも振込まなければいけない。結局、他の団員の士気が下がってしまう。そのため、太田市の消防団では何段階かに分けて、減額していくやり方をこれからやるというような記事がでていました。館林地区消防組合は、そういった差をつけるということも変なんですけれども、幽霊団員防止のためにも、そういった差金は考えていかれるのか。その幽霊団員の分の額を団の活動費として、総額を変えずにやっていくような考えというのは有るのか、お願いいたします。
- 議 長（斉藤貢一君） 警防課長三田直紀君。
- 警防課長（三田直紀君） 質問に対しまして、お答えします。太田市消防団の減額報酬の支給方法は、こちらでも確認把握しております。全国的に見ても珍しい支給方法ですが、現状、館林地区消防組合の各消防団では、太田市消防団のような支給方法は検討しておらず、現状維持となります。今後、他の地域の消防団の動向を見つつ、必要であれば検討していきたいと思っております。以上となります。
- 議 長（斉藤貢一君） 他に。質疑を打ち切ります。討論を行います。
（「討論なし」と呼ぶ者あり）
- 議 長（斉藤貢一君） 討論を打ち切ります。採決いたします。議案第10号を原案どおり可決することに賛成の方は挙手を願います。
（挙手全員）
- 議 長（斉藤貢一君） 挙手全員よって、議案第10号は原案どおり可決いたしました。
- 議 長（斉藤貢一君） 以上で、本日の議事日程の全部を終了いたしました。この際、管理者からあいさつをしたい旨、申し出がありますので、これを許します。管理者多田善洋君。

- 管理者（多田善洋君） 本日は、館林地区消防組合議会第1回定例会を開催いたしましたところ、議員の皆様にはお忙しい中、お集まりいただきまして誠にありがとうございます。また、提出いたしました議案につきまして、承認、議決をいただき、厚く御礼を申し上げます。このたび、1月1日に発生した能登半島地震により犠牲になられた方々に、哀悼の意を表するとともに、一日も早い復興を願っておるところでございます。今回大規模な地震が発生し、改めて安全安心なまちづくりのため、より高度な災害対策を整えていかなければならないと考えております。しかしながら、現状においては、少子高齢化や、ウクライナ情勢等、急激な経済悪化などにより、予算も限られていることから適正な配分に努めながら、消防団を初め、自主防災組織、事業所、学生などの若い力の活用に配慮し、地域防災に対する意識の高揚、見直しに努め、災害に強いまちづくりに取り組んでいきたいと思っております。議員各位におかれましては、くれぐれも健康に十分にご留意いただき、ますますのご活躍をご祈念申し上げ、簡単ではございますが、お礼の挨拶といたします。本日は、大変ありがとうございました。
- 議長（斉藤貢一君） 以上をもちまして、令和6年館林地区消防組合議会第1回定例会を閉会いたします。

(午後1時27分)

令和6年6月7日

館林地区消防組合議長

斉藤貢一

会議録署名議員

神山均

会議録署名議員

飯島一志